

サツマイモ基腐病対策のポイント③

<9～10月の管理作業>



【残さ対策】 基腐病菌は収穫残さで越冬するので残さ処理が重要！

- ◎ 収穫後の残さは、ほ場の外に持ち出しましょう。
やむを得ず持ち出せなかった残さは、収穫直後の地温が高い時期にロータリーで複数回耕うんして細かくし、土壌中の微生物による分解を進めましょう。
- ※ 残さのすき込みは、①地温が20℃以上確保できる時期、②残さが十分に水分を含んでいる収穫直後が効果的です。
- ※ 地温の低い12月から3月は、土壌中の微生物の働きが少ないため、石灰窒素などの腐熟促進剤を投入しても、残さの分解はほとんど進みません。

令和6年産の健全苗を確保するため、準備をしましょう！！

【育苗床の準備】 必ず殺菌効果のある土壌消毒剤で消毒を行う！

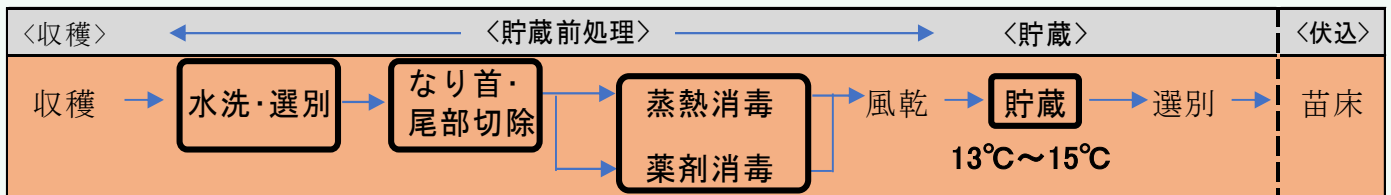
- ◎ 消毒効果を高めるため、残さの除去、地温や土壌水分の確保を行い、土壌混和後はビニールで被覆しましょう。

【バスアミド微粒剤の使用基準】

- ・使用量：30kg/10a
- ・使用方法：所定量を均一に散布して土壌と混和
- ・使用時期：植付21日前まで

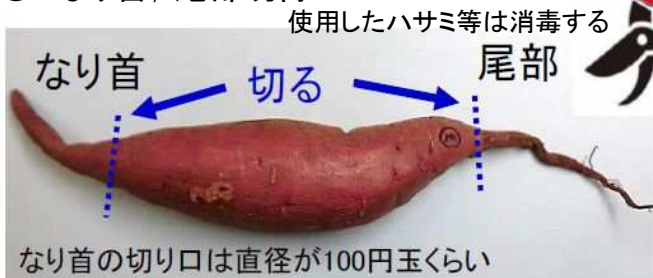
【種いもの準備】 貯蔵前処理と貯蔵中の温度管理が重要！

- ◎ 種いもは、病気の発生していない種いも生産専用ほ場から採取しましょう。
- ◎ 貯蔵中の腐敗を防止するため、貯蔵前処理を必ず行いましょう。



- 水洗・選別
水洗して表皮が変色しているものは除去
- 蒸熱消毒 ※11月までの寒くない時期
蒸熱処理装置を利用して消毒を行う。

○ なり首、尾部切除



○ 薬剤消毒

なり首、尾部切除後、速やかにトップジンM水和剤200倍液に30分間浸漬し風乾
(※10℃以下の低温にさらさない)

○ 貯蔵

13～15℃を保ち、低温にさらさない。